

オプチレイ[®] 240注シリンジ/320注シリンジ 75/100mLのご使用にあたって

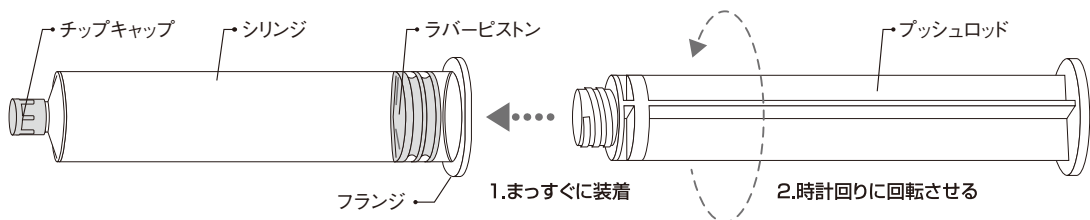
■ご使用前のお願い

- プラスチックトレイからシリンジを取り出し、シリンジの破損、チップキャップ部とラバーピストン部から薬液の漏れ等がないことを確認して下さい。異常が認められた場合には、本品を使用しないで下さい。
- チップキャップは、連結チューブ（エクステンションチューブ）及び注射針等をセットする直前まで、外さないで下さい。
- 電子レンジ、湿式ならびに温水中での加温は避けて下さい。

■組み立て方

- プッシュロッドを取り出し、時計回りに回転させながら、ラバーピストンにまっすぐに装着して下さい。

注)この時、プッシュロッドを傾けて、ラバーピストンがねじれたり、傾いたりしないように注意して下さい。
プッシュロッドをセット後、ラバーピストンを回転させる必要はありません。

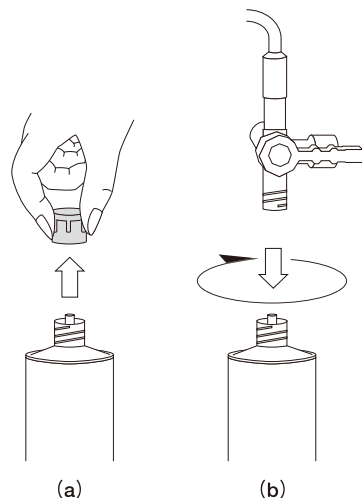


■連結チューブ及び注射針等のセット方法

- シリンジのチップキャップを上向きにして矢印方向に静かにゆっくり取り外して下さい (a)。薬液が飛び出す可能性がありますので注意して下さい。

- 連結チューブ及び注射針等をセットして下さい (b)。連結チューブ及び注射針等は耐圧・ルアーロック式を使用して下さい。連結チューブ及び注射針等のセットは、軽く抵抗を感じた時点でねじ込みを止めて下さい。必要以上にねじ込みを行った場合等にシリンジ先端部が破損することがあります。

- シリンジ先端部に破損・ヒビ等がないことを確認の上、使用して下さい。



■自動注入器へのセット、エア抜き、三方活栓の確認

- 本剤の注入には、根本杏林堂社製または日本メドラッド社製CT用造影剤自動注入装置を使用して下さい。
- 本剤をCT用造影剤自動注入装置で注入する際、注入圧は13kg/cm²(190PSI)以下で使用して下さい。
- エア抜きは、静かにゆっくりと造影剤自動注入装置のマニュアル操作で行って下さい。エア抜きを手で行いますと、不均一に負荷がかかるため、ラバーピストンが斜めになり、液漏れを生じる原因になります。
- 三方活栓が開いていることを確認してから注入して下さい。三方活栓を閉めた状態で注入するとシリンジが破損する可能性があります。

■CT用造影剤注入装置への着脱方法

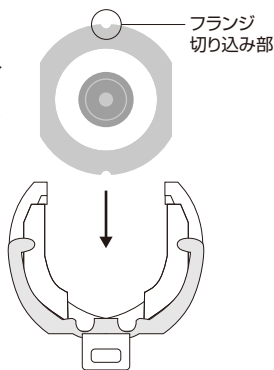
- 根本杏林堂社製CT用造影剤注入装置の100mL用アダプターにストッパーが付いている場合には、以下の方法で着脱して下さい。

<CT用造影剤注入装置への取り付け方法>

CT用造影剤注入装置の取り付けは、注入時にシリンジのフランジ部分がアダプターにしっかりと固定するように、以下の方法に従い、セットして下さい。

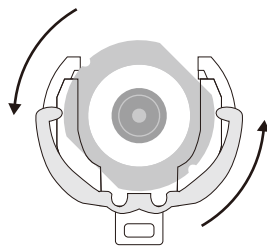
1

フランジ切り込み部が真上になる向きで挿入して下さい。



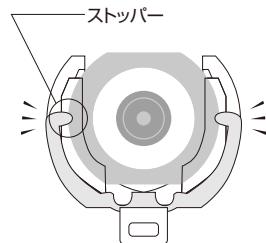
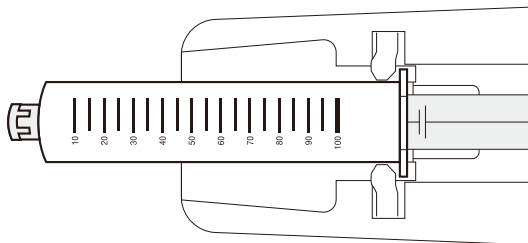
2

目盛りが上になるように回転させて下さい。



3

ストッパーがフランジ切り込み部に正しくセットされていることを確認して下さい。



<CT用造影剤注入装置からの取り外し方法>

フランジ切り込み部が真上になるように回し、シリンジを取り外して下さい。

■投与後のお願い

- 使い残した薬液は廃棄して下さい。
- シリンジは再使用しないで下さい。